

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	メタロアッセイオートカルシウムCPZⅢ
会社名	メタロジェニクス株式会社
住所	千葉市中央区亥鼻1-8-15 千葉大亥鼻イノベーションプラザ
担当者	鈴木 裕子
担当部門	研究開発部
電話番号	043-227-6767
FAX番号	043-227-6768
商品コード	ACA31
緊急連絡先	メタロジェニクス株式会社
電話番号	043-227-6767

2. 組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別:	混合製品
成分及び含有量:	
R-1	<ul style="list-style-type: none"> ・水 > 97 % ・モルホリノエタンスルホン酸 < 2 % ・非イオン性界面活性剤(ポリエチレングリコール-α-オクチルフェニルエーテル) < 1 %
R-2	<ul style="list-style-type: none"> ・水 > 97 % ・2,7-ビス(2-クロロ-2-ホスホフェニルアゾ)-1,8-ジヒドロキシ-3,6-ナフタレンジルスルホン酸, 二ナトリウム < 0.05 % ・モルホリノエタンスルホン酸 < 2 % ・非イオン性界面活性剤(ポリエチレングリコール-α-オクチルフェニルエーテル) < 1 %
標準試料 (Ca10mg/dLを含有)	<ul style="list-style-type: none"> ・水 > 99 % ・硝酸 < 0.01 %
官報公示整理番号(化審法):	・ポリエチレングリコール- α -オクチルフェニルエーテル (7)-172

3. 危険有害性の要約

R-1、R-2

有害性: ・飲み込んだり、吸入。皮膚から吸収したりすると有害刺激作用がある。

標準試料

(Ca10mg/dLを含有) 有害性:

危険性: ・該当なし
 ・皮膚、粘膜に付着すると炎症を起こす可能性がある。
 ・吸入すると呼吸器の障害を起こす可能性がある。
 ・長期暴露により歯、呼吸器の障害を起こす可能性がある。

4. 応急処置

一般的な処置:	事故が起きたとき、あるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける。 (できれば本データシートを見せる。)
吸入した場合:	呼吸が弱かったり停止している場合は、衣類をゆるめて呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う
皮膚に付着した場合:	汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚に触れたら、直ちに大量の水で洗う。
目に入った場合:	直ちに多量の水で洗い流し、医師の診察を受ける。コンタクトレンズは外すこと。
飲み込んだ場合:	直ちに医師の診察を受け、医師にその容器、本データシートを見せる。水でよく口の中を洗わせる。 意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で指をのどに差し込んで吐き出させる。
応急措置をする者の保護:	救助者はゴム手袋と密栓ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤:	火災の場合は水噴霧、水溶性液体用泡、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。 周辺の状況に適した消火剤を使用する。
火災時の特定危険有害性:	蒸気/空気の混合気体は爆発性である。 沸点まで加熱すると、わずかに分解してホルムアルデヒドが生成され、眼、粘膜が刺激される。 更に熱分解して硫化メチル、メチルメルカプタンの悪臭物質が生成し、燃焼すると有害な亜硫酸ガスが発生する。
特定の消火方法:	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火作業は風上から行う。初期の火災には、水、粉末などを用いる。 大規模な火災には、噴霧、泡消火剤で一挙に消火する。
消火を行う者の保護:	消火作業従事者はガスの吸入を避ける、また呼吸保護具など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	関係者以外の立ち入りを禁止し、付近の着火源を取り除く。 適切な保護具を着用する。 十分に換気を行い、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。
除去方法:	・漏出源を遮断し、漏れを止める。 ・流出した場合には、流出した物質を適切な処理容器に集め、法律に従って処理する。 ・少量の場合は乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉出来る空容器に回収する。 ・大量の場合は、盛土等で囲って流出を防止し安全な場所に導いて回収する。 ・必要な場合、散水により蒸気濃度を低下させてから処理する。
二次災害の防止策:	・付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。 ・完全に回収後、残留物は下水や他の排水溝に捨てない。 ・河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。 ・室内への流出の場合には適切な換気を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：
・作業者は暴露防止のため取扱いは換気の良い場所で行う。
・作業場近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
・発散した製品を吸い込まないように、風上から作業する。
・作業の都度、容器を密閉する。
・取扱い場所に関係者以外の立入を禁止する。
・電気機器類は防爆構造のものを用いる。機器、設備には静電気対策を行う。
・出来るだけ皮膚に付けたり吸入したりしないように、適切な保護具を着用する。
・容器を開く前に内圧を除く。
・粉塵を吸入しないよう適切な保護具を着用する。

注意事項：
・適切な換気を使用する。
・屋外での取扱いはできるだけ風上から作業する。
・全ての発火原因から離れる。

安全取扱い注意事項

・容器は転倒させる、衝撃を加える、引きずる等の粗暴な扱いをしない。
・直射日光を避け、冷蔵(2～8℃)貯蔵し、密封保存する。
・熱、火花、炎や他の発火の原因になることから離して保管する。
・長期間の保管を避ける。
・酸化性物質との接触を避ける。

安全な容器包装材料

・堅牢で不活性な材質の容器を用いる。

8. 暴露防止措置及び保護措置

設備対策：
・密閉する装置や適切な全体、又は局所排気装置を使用する。
・取扱い場所の近くに洗眼設備や洗身シャワーを設け、その位置を明確にする。

保護具：
呼吸器 防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク
眼／顔 保護眼鏡、ゴーグル等
皮膚 保護手袋
その他 適当な保護服、靴、帽子、フェイスシールド等

9. 物理的及び、化学的性質

【R-1】

外観： 濃黄色透明液体
臭気： なし
pH： 4～7
沸点、融点： データなし
水への溶解度： 本品は水溶液
溶媒への溶解度： データなし
かさ比重： データなし
引火点： データなし
爆発限界： データなし

【R-2】

外観： 濃紫色透明液体
臭気： なし
pH： 4～7
沸点、融点： データなし
水への溶解度： 本品は水溶液
溶媒への溶解度： データなし
かさ比重： データなし
引火点： データなし
爆発限界： データなし

【標準試料】

外観:	無色液体
臭気:	なし
pH:	2以下
沸点:	データなし
水への溶解度:	本品は希硝酸水溶液
溶媒への溶解度:	データなし
かさ比重:	データなし
引火点:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	取扱い条件では安定
回避:	発火原因となるものは、直射日光、熱源、直火、火花、高温、その他。
不適合:	酸化剤
有害分解物質:	熱分解はCO、CO ₂ 、NO ₂ 、HCl、Cl ₂ を生成する恐れがある。
有害重合:	情報なし

11. 有害性情報

【R-1、R-2、標準試料】:

感作性:	データなし。
局所効果:	データなし。
発がん性:	データなし。
慢性毒性:	データなし。
変異原性:	データなし。
催奇形性:	データなし。
生殖毒性:	データなし。

12. 環境影響情報

R-1、R-2、標準試料	生態毒性:	データなし
	残留性:	データなし
	分解性:	データなし
	生物蓄積性:	データなし
	土壤中の移動性:	データなし

13. 廃棄上の注意

化学物質(残余廃棄物):

- ・焼却する場合、十分な可燃性溶剤、重油等の燃料とともにアフターバーナー、スクラバー等を具備した焼却炉でできるだけ高温で少量ずつ焼却し、排ガスは中和処理する。
- ・処理施設がない等の理由で廃棄できない場合は、都道府県の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
- ・洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
- ・全ての適切な法律や専門家の助言に従って焼却炉にて燃焼してください。
政府の規制に従った廃棄や地方の助言に従って用意をする。空の容器は十分に洗浄し、残留物は下水溝や他の水路には流さないで下さい。

汚染容器・包装: 十分に洗浄して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国内規制: 該当しない
国連分類: 該当しない
国連番号: 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件:

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

航空法: 該当しない
船舶安全法: 該当しない
毒物及び劇物取締法: 該当しない
化審法: 第三種監視化学物質No. 42
改正PRTR法: 第一種指定化学物質 第408号 ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル

16. その他の情報

責任の限定について

- ・ 全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。
- ・ また新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。
- ・ 重要な決定等にご利用される場合は、出展等をよく考慮されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。
- ・ なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。
- ・ また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

引用文献

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1) 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社 |
| 2) 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社(2007) |
| 3) 化学物質の危険・有害便覧 | 中央労働災害防止協会編 |
| 4) 化学大辞典 | 共同出版 |
| 5) 安衛法化学物質 | 化学工業日報社 |
| 6) 産業中毒便覧(増補版) | 医歯薬出版 |
| 7) 化学物質安全性データブック | オーム社 |
| 8) 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) | 三共出版 |
| 9) 化学物質の危険・有害性便覧 | 労働省安全衛生部監修 |

※ メタロアッセイ™ は、メタロジェニクス(株)の試薬キットの名称です。